

教科	商業	科目	情報処理	単位数	5
学年	1年	類型	情報ビジネス科		
教科書(出版社)	最新情報処理新訂版(実教出版)				
副教材(出版社)	情報処理検定模擬試験問題集2級ビジネス情報・プログラミング(実教)				
授業の概要	表計算ソフトウェアの活用を中心に、ビジネスにおける情報の処理や活用を実践する。				
授業の目標	1 ビジネスと情報処理について理解し、情報活用能力を高める。 2 表計算ソフトウェアの活用に習熟させ、高度な資格取得を目標にする。 3 正しい情報モラルについて理解し、実践できる能力を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1章 情報の活用と情報モラル  2章 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	・「情報処理」を学ぶ目的を理解する。 ・情報の意義と役割、ビジネスとの関わりを理解する。 ・ソフトウェアの役割を理解し、基本的操作を習得する。  ・情報通信ネットワークの構成や利用形態の概要を理解する。		
	2 学期	3章 ビジネス情報の処理と分析  4章 ビジネス文書の作成  5章 プレゼンテーション	・表計算ソフトウェアの特色を理解し、ビジネス情報の処理に活用するための知識、技術を習得する。  ・ビジネス文書を作成するために必要な基本的知識や技術を習得する。  ・ビジネスに関する情報の収集・処理・分析を行い、報告書や提案書を作成し、プレゼンテーションを行うために技法を身に付ける。		
	3 学期	プログラミングの基礎 ・JAVA 言語の特徴 ・模擬試験問題 ・検定試験問題	・JAVA 言語の特徴を理解する。 ・基本的な模擬問題から検定試験問題を中心に、総合的な理解力を深める。		
観点別評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	ビジネスにおける情報の役割に関心を持ち、科目「情報処理」を学ぶことによって積極的に情報を活用するための知識・技術を習得しようとする意欲を示す。	ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				